

内閣総理大臣杯争奪
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2010年5月5日 14時20分開始

決勝

東京体育館 M - 8

◎
宮城MAX
(東 北)

76

〔 16 1クォーター 8
19 2クォーター 14
17 3クォーター 14
24 4クォーター 10 〕

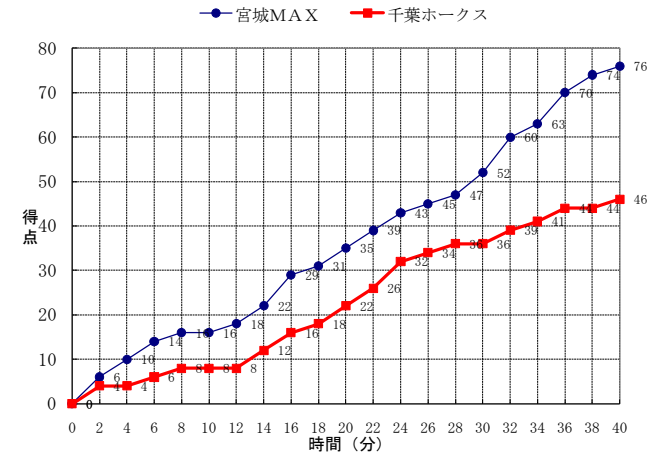
46

千葉ホークス
(関 東)

番号	氏 名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏 名 (持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	向後 寄夫 (1.5)	6	0	3	0	-	-	2	* 4	土子 大輔 (4.0)	8	0	4	0	-	-	5
5	高橋 浩則 (2.5)	2	0	1	0	-	-	0	5	植木 隆人 (2.0)	0	0	0	0	-	-	3
6	三浦 裕也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	6	下村 浩之 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
* 7	豊島 英 (2.0)	14	0	7	0	-	-	2	* 7	田中 恒一 (3.0)	2	0	1	0	-	-	3
8	加藤 芳博 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-	8	坂井 大 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0
* 9	中澤 正人 (4.0)	8	0	4	0	-	-	1	9	阿部 匡志 (2.0)	2	0	1	0	-	-	1
* 10	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	10	千脇 貢 (2.5)	0	0	0	0	-	-	1
* 11	藤井 新悟 (1.5)	9	0	4	1	-	-	0	12	田仲 幸生 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
12	佐藤 正哲 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 13	森 紀之 (2.0)	6	0	3	0	-	-	1
* 13	藤本 怜央 (4.5)	37	0	16	5	-	-	2	* 14	鈴木 明将 (3.5)	19	0	9	1	-	-	3
16	菅原 志朗 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 15	京谷 和幸 (1.0)	4	0	2	0	-	-	3
18	椎名 光男 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-	16	伊東 容臣 (4.0)	5	1	1	0	-	-	0
									17	宇埜 雄太 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	岩佐 義明								コーチ	菊地 哲博							
Aコーチ	石川 大介								Aコーチ	猪田 博敏							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	牛込 公一							
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	左東 摩子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	浪川 明美							
合 計		76	0	35	6	0	0	7	合 計		46	1	21	1	0	0	20

主審： 杉山 兼芳
副審： 加藤 昌樹
副審： 岸 良太郎

得点経過



〔 戦 評 〕

3年連続決勝戦は宮城MAXと千葉ホークスの対戦となった。宮城MAX、3連覇なるか！ はたまた千葉ホークスのリベンジなるか。

[1Q]宮城13番と千葉4番のタップオフから、宮城がボールを得る。しかしターンオーバーから千葉14番のシュートが決まり先制。しかし宮城も13番のミドルシュートで応える。更に宮城9番・13番のシュートでリードを奪う。宮城が10対4とリードしたところで、千葉はタイムアウト。厳しいマークをかくぐり宮城13番がシュートを決めていく。千葉はシュートが決まらず、リバウンドも宮城に奪われ苦しい場面が続く。16対8と宮城リードで1Q終了。

[2Q]千葉ボールでスタートするも、宮城11番のアシストから4番のシュートが決まり、リードは広がる。一方千葉14番のミドルシュートがきれいに決まり、リズムを得たいところだが、宮城タイムアウト(宮城18対12)。宮城7番の早い攻撃で再びペースをとり戻す。千葉はミスが続くも16番のドライブインシュートが決まり、得点差を詰めたい。お互い点の取り合いとなるが、ミスの少ない宮城が速い攻撃でリードを広げる。2Q宮城19対14と点差を広げて、13点リードで前半終了。

[3Q]宮城ボールでスタート。宮城13番のシュートが入り得点を重ねる。千葉の厳しいディフェンスからボールを得、宮城15番のシュートで9点差とする。しかし宮城11番のゴール下へのうまいドライブインシュートが決まり、更に宮城13番がゴール下シュートを押し込んで13点差となったところで、千葉タイムアウト。追いつきたい千葉だが、ミスが続き得点できず逆に宮城の得点を許してしまう。宮城17対14と3Qもリードして終了(宮城52対36)。

[4Q]宮城ボールでスタート。うまくボールを廻し宮城13番のシュートが決まり、更に11番のシュートで20点差となる。しかし千葉14番のファールを得ながらのシュートが決まり、フリースローも決め、何とか追いつがる。千葉のミスから宮城11番の速攻が決まりリードを広げる。千葉は焦りからかシュートが決まらない。一方宮城13番のシュートが面白いように決まりリードを広げていく。千葉